

## さっぱい わからん？

朝食を終えた男は、テレビの前に座ってそう呟いた。ちよつと朝ドラ「あんぱん」の主題歌が流れている。テンポのいいポップな曲なのだが、早口でたたきつけるような歌い方なので、歌詞の内容が全く聴き取れない。何を言っているのかさっぱり解らないのだ。何とか歌詞を聴き取ろうと毎朝頑張ってみるが、結局無理だと諦めた。

朝ドラは前作の「おむすび」から「あんぱん」に。ちよつとコメ不足と重なったため、それに引っかけ茶化す向きもあるが、前作に比べかなり見応えがある。それだけに主題歌が聴き取れないのは、いかにも残念な気がする。昭和の頃も感情をストレートにぶつけるような激しい歌はあったが、歌詞が聴き取れないことはなかった。歌で何かを伝えるなら、もっと言葉を大事にして欲しいと思う。

話は変わるが「みちよぱ」や「ゆうちゃみ」。最初耳にし

た時、外国の食べ物か何かかと思っただが、売れっ子の女性タレントの名前である。その先駆けは「きゃりーぱみゅぱみゅ」であろう。いずれも意味不明で、ただただ啞然とする。これを今風と言うなら、時代は俺を置き去りにしていったのだろうか。

そんなことを考えていると、奥方が「歌詞が聞き取れないのは、歌い方の問題じゃないの。耳とともにあなたの感性が老化したからよ」と。男が「馬鹿を言うな！俺の感性は今でもみずみずしいぞ」と抵抗すると「そう言って言い張るのが老化の証拠！」男はすかさず反撃する。「そう言うお前は、あの歌詞が解るのか？」  
「……」奥方は言葉を失った。この勝負なんとか引き分けに持ち込んだ。